



一般社団法人 日本遠隔医療学会

令和6（2024）年度（第14期）定時総会 議案書

第1号議案	令和4年度（第13期）事業報告
第2号議案	令和4年度（第13期）決算・監査報告
第3号議案	令和5年度（第14期）事業計画
第4号議案	令和5年度（第14期）予算
第5号議案	定款の改訂

開催場所 東京都文京区湯島 3-6-1 全国家電会館 5F 講堂
開催日時 2023年6月15日（土） 13:00～13:45

*** 関連日程 ***

編集委員会 6月15日（土）10:00～11:00
理事会 6月15日（土）11:00～12:00
運営会議 6月15日（土）14:00～15:15
終了後八王子市・大学セミナーハウスへ移動
「医療DXに関する資格・研修検討会」を開催

第1号議案 令和5(2023)年度(第13期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌(機関誌)の発行

(1) 発行実績

令和5年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第18巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第19巻1号 令和5年6月 650部

日本遠隔医療学会雑誌 第19巻2号 令和5年10月 650部

日本遠隔医療学会雑誌 第19巻補刊号※ 令和6年3月 650部

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①JTTA2023 NIIGATA B演題抄録

②JTTA スプリングカンファレンス 2023 抄録

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長 森田 浩之 岐阜大学

委員 大山 太 東海大学

木ノ内 玲子 旭川医科大学

酒巻 哲夫 社会福祉法人・恵林/森の泉

鈴木 亮二 高崎健康福祉大学

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

長谷川 高志 群馬大学

山田 桃子 羽生総合病院

2. 第27回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2023 NIIGATA の開催

会期 2023年11月11日(土)～12日(日)

オンデマンド公開:

会場 新潟市 朱鷺メッセ

大会長 児玉 直樹(新潟医療福祉大学)

テーマ 遠隔医療における多職種連携

※実施報告は本会雑誌20巻1号に掲載した。

3. JTTA Spring Conference 2024 の開催

期日 令和6(2024)年2月10日(土)～2月11日(日)

会場 東京・全国家電会館(ハイブリッド方式で開催した)

プログラム

特別企画Ⅰ 「医療DXの基盤となるサイバーセキュリティ技術の展望と実際」

特別企画Ⅱ 「総務省における医療・健康等分野への取組」

特別企画Ⅲ 「今、PHR を考える ～医療関係者・民間事業者それぞれの視点から～」
特別企画Ⅳ 「電子処方箋から始まるオンライン化の現状 2024」
一般演題 4 演題
日本遠隔医療協会特別報告
参加者数 60 人程度

4. 公開講座開催

テーマ 病院のサイバーセキュリティ対策
期日 令和 5 (2023) 年 7 月 29 日 (土)
会場 高崎市・高崎健康福祉大学
共催 高崎健康福祉大学・医療情報学科
後援 群馬県医務課、群馬県医師会
プログラム
座長 松尾 仁司 (高崎健康福祉大学)
基調講演 「医療機関のサイバーセキュリティ調査からわかる対策と今後」
近藤 博史 (協立記念病院)
講演 1 「病院のサーバーセキュリティの勘所」
若村 友行 (シスコシステムズ合同会社)
講演 2 「相次ぐランサムウェア攻撃で見直すべきセキュリティ対策」
福田 香奈絵 (アライドテレシス株式会社)
講演 3 「病院が目指すべきセキュリティ意識と体制」
市根井 栄治 (前橋赤十字病院)
講演 4 「大学におけるサイバーセキュリティ人材の育成」
松尾 仁司 (高崎健康福祉大学)
総合討論
参加者数 約 150 人 (医療機関、IT 企業、警察、学生など)

Ⅱ 委員会・分科会および社会貢献活動

1. 社会保険委員会

内保連 (一般社団法人内科系学会社会保険連合) に長谷川高志 (常務理事・社会保険委員長) が内保連・遠隔医療関連委員会・副委員長として活動した。

詳細報告は、本会雑誌 20 巻 1 号に掲載した。

2. 普及委員会

JTTA Spring Conference 2024 を主催し開催した。

3. 編集委員会

新投稿システムを運用し、JTТА2023 演題募集にも利用した。
JTТА2023 の A 演題の査読を実施し、優秀論文 3 篇を選定にした。

4. 選挙管理委員会

幹事会員半数の改選年に当たり、選挙を実施した。

5. 禁煙推進学術ネットワークへの加盟、委員派遣

禁煙学術ネットワークにおける議論に参加した。

6. 分科会の活動

以下の 20 の分科会が、活動報告書を提出した。活動報告は本会雑誌第 20 巻 1 号に掲載した。

No.	分科会名	英文名称	分科会長	分科会長所属先
1	国際医療分科会	SIG Video Remote Medical Interpreting	瀧澤 清美	NPO 法人地域診療情報連携協議会
2	在宅見守り支援分科会	SIG Home Telecare	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学
3	周産期医療分科会	SIG Perinatal Telemedicine	小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院
4	睡眠遠隔医療分科会	SIG Sleep Telemedicine	吉嶺 裕之	医療法人愛仁会 太田睡眠科学センター
5	オンラインバイタルモニタリング分科会	SIG Guidelines for Telemonitoring Devices from Patient's Home	中村 昭則	NHO まつもと医療センター
6	精神科遠隔医療分科会	SIG Telepsychiatry	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
7	市民に遠隔医療をやさしく学んでもらう分科会	SIG Telemedicine Education for Citizens	大木 里美	遠隔医療をとことん考える会
8	歯科遠隔医療分科会	SIG Teledentistry	長縄 拓哉	ムツー株式会社
9	デジタル療法分科会	SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy	佐竹 晃太	日本赤十字社医療センター/CureApp Institute
10	皮膚科遠隔医療分科会	SIG Tele dermatology	吉崎 歩	東京大学大学院 医学系研究科・医学部 皮膚科学
11	循環器における在宅医療分科会		笠原 真悟	岡山大学 心臓血管外科
12	遠隔 ICU 分科会	Tele-ICU subcommittee	高木 俊介	横浜市立大学付属病院 集中治療部
13	オンライン診療分科会	Spcial Inerest Group of Online medicine	黒木 春郎	医療法人社団 嗣業の会 こどもとおとなのクリニック「パウルーム」

14	遠隔医療基盤検討分科会	SIG Infrastructure of telemedicine	近藤 博史	協立記念病院
15	へき地遠隔医療分科会	SIG Rural Telemedicine	原田 昌範	山口県立総合医療センターへき地医療支援センター
16	オンライン服薬指導分科会	SIG Online Medication Instruction	狭間 研至	ファルメディコ株式会社
17	テレナーシング分科会	Telenursing Special Interest Group	亀井 智子	聖路加国際大学大学院看護学研究科
18	腫瘍内科遠隔医療分科会	SIG Telemedicine in medical oncology	砂川 優	聖マリアンナ医科大学腫瘍内科
19	血液内科遠隔医療分科会	SIG Remote Hematology	西川 彰則	和歌山県立医科大学附属病院
20	DtoD 遠隔専門医相談システム分科会	SIG Doctor to Doctor e-consultation	山田 裕揮	株式会社 Medii

7. 遠隔医療の啓発活動

以下の雑誌に遠隔医療の特集号が発行され、これに協力した。

出版社 医歯薬出版株式会社

雑誌名 週刊 医学のあゆみ Vol. 287 No.2 2023年10月

監修者 近藤博史

執筆者 近藤博史、長谷川高志、山下巖、木下翔太郎・岸本泰士郎、高木俊介、野村章洋、狭間研至、亀井智子、木村穰

これを購入し、運営会議議員に配布した。

Ⅲ 国際交流活動

1. ISfTeH メンバーシップの維持

2023年度に引続き、2024年度のNational Memberの継続手続きを行い、Member Shipを維持した。

2. ISfTeH Board Member としての活動

近藤博史会長のISfTeH Board Memberとしての任期は2023年で終了した。

任期中はBoard Member Meeting（オンライン）に参加した。

3. JICA 研修への講師派遣

2024年1月にJICAが実施した研修会開催に協力し、講師を派遣した。

4. ASEAN との合同フォーラム開催企画

2025年2月のASEAN との合同フォーラム開催に向け、外務省等に企画提案書を提出し、準備を開始した。

Ⅲ 学会組織の運営

1. 幹事会員半数の改選

2023年度は幹事会員半数の改選のための選挙を実施した。その結果は以下の通りであった。
これら幹事会員の任期は2026年度末までである。

1) 理事会指名幹事会員（5名）

氏名	所属
亀井 智子	聖路加国際大学看護学部
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
長谷川 高志	特定非営利活動法人日本遠隔医療協会
村上 礼子	自治医科大学看護学部日本ルーラルナーシング学会
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野

2) 会員による選挙結果（当選10名、補欠2名）

当落	氏名	所属
当選	郡 隆之	利根中央病院 診療部長・外科部長
当選	黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 理事長
当選	吉嶺 裕之	社会医療法人春回会 井上病院 院長
当選	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部 准教授
当選	富田 康弘	虎の門病院 睡眠呼吸器科・医長
当選	吉崎 歩	東京大学大学院医学系研究科 皮膚科 講師
当選	笠原 真悟	岡山大学 心臓外科 教授
当選	竹内 公一	千葉大学医学部附属病院患者支援部 部長
当選	大山 太	東海大学 医学部看護学科 准教授
当選	松本 浩樹	前橋工科大学大学院システム生体工学専攻 教授
補欠1	大西 丈二	厚生労働省 老健局課長補佐
補欠2	加澤 佳奈	広島大学大学院医系科学研究科 特任講師

2. 役員、幹事会員および運営会議議員名簿

令和5（2023）年度の役員、幹事会員、運営会議議員名簿は以下の通り。

1) 役員

理事（任期2024年度末まで）

氏名	所属	役職
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	理事
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	理事
郡 隆之	利根中央病院	常務理事
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	理事
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	専務理事
長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	常務理事
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	理事副会長
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	代表理事会長

佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	理事
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	理事
監事（任期 2024 年度末まで）		
吉井 宏文	吉井宏文税理士行政書士事務所	監事

2) 幹事会員（任期 2024 年度末まで）

氏名	所属	選出方法
芦原 貴司	滋賀医科大学 医療情報部・循環器内科	2021 選挙
小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院	理事会推薦
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	理事会推薦
坂田 信裕	獨協医科大学医学部 情報基盤センター	理事会推薦
佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	2021 選挙
清水 周次	九州大学病院 国際医療部	理事会推薦
高木 俊介	横浜市立大学附属病院集中治療部	2021 選挙
中村 昭則	信州大学病院神経内科	2021 選挙
野村 章洋	金沢大学附属病院先端医療開発センター	2021 選挙
原田 昌範	山口県立総合医療センターへき地医療支援センター	2021 選挙
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	2021 選挙
真原 仁	千葉大学医学部附属病院地域医療連携部	2021 選挙
森山 智彦	九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター	2021 選挙
山田 桃子	NPO 法人 medical-e.net	理事会推薦
米澤 麻子	株式会社 NTT データ経営研究所	2021 選挙

3) 幹事会員（任期 2024 年度末まで）

1 項参照。

4) 運営会議議員（お名前のみ）

芦原 貴司、大西 丈二、大林 克巳、大山 太、小笠原 敏浩、岡田 宏基、尾形 優子、笠原 真悟、加澤 佳奈、亀井 智子、岸本 泰士郎、木ノ内 玲子、樽松 八平、黒木 春郎、郡 隆之、児玉 直樹、近藤 博史、坂田 信裕、酒巻 哲夫、佐竹 晃太、清水 周次、鈴木 亮二、砂川 優、高木 俊介、高橋 裕子、瀧澤 清美、竹内 公一、東福寺 幾夫、富田 康弘、長縄 拓哉、中西 智之、中村 昭則、西川 彰則、野村 章洋、狭間 研至、長谷川 高志、原 量宏、原田 昌範、福島 明宗、本間 聡起、松本 浩樹、真原 仁、村上 礼子、森 一郎、森田 浩之、森山 智彦、山下 巖、山田 裕揮、山田 桃子、吉井 宏文、吉崎 歩、吉嶺 裕之、米澤 麻子（以上、53 名）

2. 総会の開催

令和 4 年度定時総会は、ハイブリッド方式で開催した。

- (1) 方式 対面及び定款第 21 条による電磁的手段を併用
- (2) 期日 令和 5 (2023) 年 6 月 17 (土) 13:00~14:00

(3) 場所 全国家電会館 5F 講堂 (東京都文京区湯島 3-6-1)

(4) 議案書

- 第 1 号議案 令和 4 年度(第 12 期) 事業報告
- 第 2 号議案 令和 4 年度(第 12 期) 決算・監査報告
- 第 3 号議案 令和 5 年度(第 13 期) 事業計画
- 第 4 号議案 令和 5 年度(第 13 期) 予算
- 第 5 号議案 理事の選任

(5) 審議参加状況

議決権のある社員総数	30 名 (議決権の数 30 個)
出席社員数	27 名 (議決権の数 27 個)
現地参加	13 名
オンライン参加	5 名
委任状提出	9 名
出席理事	近藤博史 (議長兼議事録作成者)、森田浩之、東福寺幾夫、長谷川高志、 郡隆之、鈴木亮二、本間聡起
欠席理事	笠原 真悟、黒木 春郎、佐竹 晃太 (いずれも委任状提出)
出席監事	吉井 宏文

(5) 審議結果

全ての議案につき、満場異議なく、承認可決した。

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり 2 回開催した。

【第 1 回理事会】

開催方法	電磁的手段 (電子メールによる審議)
審議期間	2023 年 5 月 26 日 (金) ~ 同年 5 月 29 日 (月)
審議事項	1) 2023 年度定時総会議案書の承認 2) 運営会議議員名簿の承認
提出書類	1) 2023 年度定時総会議案書 (案) 2) 運営会議議員名簿 (案)

【第 2 回理事会】

日時	2023 年 6 月 17 日 (土) 14:00~14:30
審議事項	1) 役職理事の互選 2) 入会者の承認 (2022 年 4 月以降)
提出書類	入会者名簿

4. 運営会議の開催

運営会議は、以下のとおり 4 回開催した。

【第 1 回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2023年6月17日(土) 15:00～16:15
 場所 全国家電会館5F講堂(東京都文京区湯島3-6-1)
 出席状況 現地参加 20名
 オンライン参加 25名
 委任状移出 10名
 欠席 8名

【第2回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2023年11月10日(金) 16:00～18:00
 場所 新潟市 朱鷺メッセ 2F201 中会議室
 出席状況 現地参加 21名
 オンライン参加 11名
 委任状提出 17名
 欠席 4名

【第3回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2023年12月9日(土) 13:00～15:20
 場所 東京 全国家電会館 5F講堂
 出席状況 現地参加 16名
 オンライン参加 17名
 委任状提出 16名
 欠席 3名

【第4回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2023年2月11日(日) 13:00～15:00
 場所 東京 全国家電会館 5F講堂
 出席状況 現地参加 17名
 オンライン参加 16名
 委任状提出 14名
 欠席 5名

5. 会員の状況

(1) 令和6年3月31日現在会員数(全員が2023年度会費を納入したわけではない)

正会員 630人(前年度末は608人) 30人の幹事会員を含む。
 学生会員 28人(前年度末27人)
 購読会員 3人(前年度末4人)
 賛助会員※ 12社(前年度末13社)
 賛助会員については、会費納入済みの会員数

(2) 令和5年度新規入会者

正会員 53人(前年度52人)
 学生会員 10人(前年度7人)

購読会員 0人（前年度0人）

賛助会員 2社（前年度1社）

(3) 令和5年度退会者

本人意思 58人（前年度59人）

3年会費未納 41人（前年度41人）

6. ホームページの運用

日本語ページ URL <http://jtta.umin.jp/index.php>

英語ページ URL <http://jtta.umin.jp/eng/index.php>

(1) 日本語ページ運用状況

- ・トップページのお知らせは、28回掲載・更新した。
- ・学術大会 JTTA2023 のバナーをトップページに掲載し、大会サイトアクセスの便宜を提供した。
- ・Spring Conference 2024 については、専用ページを作成した。
トップページにはバナーを配置し、情報提供、演題募集、参加登録の便宜を提供した。

(2) 英語ページ運用状況

英語のページについては更新ができておらず、今後運用の改善が必要である。

(3) ホームページリニューアルに向けての作業

ホームページのリニューアルに向けて、作業を進めた。

新ホームページは UMIN を利用せず、独自ドメイン名を取得することとなった。

新ドメイン名：<https://telemed-telecare.jp/>

2024年度の早い時期に切り替えの予定。

以上。

第2号議案 令和4(2021)年度(第12期)決算報告

1. 貸借対照表

貸借対照表

令和6年3月31日現在

資産の部		負債の部	
借方科目名	金額	貸方科目名	金額
	円		円
(流動資産合計)	9,836,358	(流動負債合計)	60,000
普通預金	8,615,721	未払金	0
定額貯金	400,000	前受会費	60,000
学会誌バックナンバー	658,527	短期借入金	0
備品費	162,110	資本の部	
		前期繰越正味財産	10,235,277
		当期正味財産増加額	△ 458,919
資産合計	9,836,358	負債及び正味財産合計	9,836,358

2. 財産目録

財産目録

令和6年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	9,836,358	(流動負債合計)	60,000
郵貯銀行 普通口座ぱるる	3,322,558	未払金	0
郵貯銀行 振替口座	70,625	前受会費	60,000
群銀 高崎	0	仮受金	0
群銀高崎栄町1	1,926,400	単期借入金	0
P a y P a l	0	負債合計	60,000
群銀高崎栄町2	3,296,138	資本の部	
定額貯金	400,000	前期繰越正味財産	10,235,277
学会誌バックナンバー	658,527	当期正味財産増加額	△ 458,919
備品費	162,110	負債及び正味財産合計	9,776,358
資産合計	9,836,358	負債及び正味財産合計	9,836,358

コメント 前受会費は次年度分会費の今期納入分。

3. 収支報告書

収支報告書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

科 目	金 額	
		円
【会費収入】		
幹事会員会費収入	450,000	
正会員会費収入	4,722,000	
学生会員会費収入	48,000	
購読会員会費収入	60,000	
賛助会員会費収入	600,000	
過年度会員会費収入	418,000	6,298,000
【参加費収入】		
SpringConference参加収入	555,000	555,000
【学会誌事業収入】		
学会誌別冊作成	0	
J T T A論文掲載料	130,000	
学会誌バックナンバー販売	11,000	
著作権使用料	7,645	148,645
【その他収入】		
受取利息	89	89
経常収入合計		7,001,734

【事業費】		
分科会活動助成金	212,000	
SpringConference開催費	1,192,583	
広報活動費	98,000	
会議費	667,160	
国際交流費	1,144,860	
表彰費	11,200	
教育研修事業費	123,200	
機関誌印刷費	1,766,765	
論文別冊印刷費	0	
論文査読支援業務費	499,400	
論文投稿受付システム費	120,000	
学術大会支援費	0	
内保連年会費	200,000	
禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	
ISfTeH年会費	148,995	6,284,163
【管理費】	0	
事務局人件費	131,500	
事務局業務委託費	93,335	
倉庫借用料	66,000	
国内旅費	126,370	
運搬通信費	366,102	
手数料	40,392	
消耗品費	115,007	
税理士報酬	330,000	
雑費	43,004	
学術大会準備金	△ 79,405	1,232,305
	經常支出合計	7,516,468
	經常収支差額	△ 514,734
	その他資金支出合計	55,815
期首棚卸高	△ 602,712	
期末棚卸高	735,376	
バックナンバー廃棄損	△ 76,849	
	当期正味財産増加額	△ 458,919
	前期末正味財産	10,235,277
	当期正味財産合計	9,776,358

コメント：

1. 国際交流費は2024年5月のフィンランド出張旅費（旅行会社手配分）
2. ISfTeH年会費は500USD、前年度分発生遅れで2年分を計上。

4. 監査報告書

監査報告書

私は、令和6年4月11日、役員より提出された令和5年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

令和6年4月11日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第3号議案 令和6(2024)年度(第14期)事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	20巻1号	2024年6月発行	650部程度
日本遠隔医療学会雑誌	20巻2号	2024年10月発行	650部程度
日本遠隔医療学会雑誌	20巻補刊号	2025年3月発行	650部程度

(2) 学術集会開催

第28回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2023 OKAYAMA)

大会長	笠原 真悟 (岡山大学)
会期	2024年11月9日(土) - 10日(日)
会場	岡山市・岡山コンベンションセンター

JTTA Spring Conference 2025

会期	2025年2月8日(土) - 9日(日)
会場	全国家電会館 (東京都文京区湯島)

(3) 学術大会開催準備

第29回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2025 NAGASAKI)

大会長	吉嶺 裕之 (社会医療法人春回会井上病院)
会期	2025年10月24日(金) - 25日(土)
会場	長崎市・出島メッセ

第30回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2026 YOKOHAMA)

大会長	高木 俊介 (横浜市立大学附属病院集中治療部)
会期	2026年11月7日(金) - 8日(土)
会場	横浜市・パシフィコ横浜

第31回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2027)

本年度中に、大会長・開催都市を決定する。

3. 委員会・分科会および社会貢献活動

(1) 委員会

各委員会の活動方針と計画に従い、着実に活動を展開する。

(2) 分科会

各分科会の活動が滞りなく進行するよう、適切な支援を実施する。

- ・学術大会における分科会セッションの開催等の活動実施
- ・年度末における活動報告書の提出

(3) 医療DX検討会

研修・資格制度を検討する「医療DX検討会」を設置し、メンバーを募集する。

6月に第1回合宿検討会を開催、詳細計画を決定する。

以降、上記計画に従って開催し、検討を進める。

(4) 社会貢献活動

関連団体と連携し、社会の要請に対応する。

4. 国際交流・広報活動

(1) ISfTeH

ISfTeH のナショナルメンバーとしてのメンバーシップを維持・継続する。

(2) ASEAN との合同フォーラム開催

2025 年 2 月の開催実現に向け、国際交流委員会を中心に関係官庁・関係団体と連携し活動する。

(3) ホームページのリニューアルと運用

新ホームページへのコンテンツの移植作業を進め、運用を開始する。

英語ページの運用を定着させるための体制を整備する。

(4) 各方面からの問合せへの対応

報道機関その他の問い合わせに、タイムリーに対応する。

5. 政策支援活動

内保連・禁煙推進学術ネットワークと連携して、医療保険制度に関わる活動を展開する。

6. 組織運営

(1) 2025 年幹事会員選挙の実施準備

- ・理事会選任幹事会員の選任（2025 年 3 月までに理事会で決定する）
- ・選挙人名簿の確定と選挙の円滑で公正な実施計画を立てる。

(2) 定時総会

定時総会 2024 年 6 月 15 日 東京・全国家電会館

(3) 理事会

第 1 回理事会 2024 年 4 月 東京・全国家電会館

第 2 回理事会 2024 年 6 月 東京・全国家電会館

第 3 回理事会 2024 年 8 月 東京・全国家電会館

(4) 運営会議

第 1 回運営会議 2024 年 4 月 東京・全国家電会館

第 2 回運営会議 2024 年 6 月 東京・全国家電会館

第 3 回運営会議 2024 年 8 月 東京・全国家電会館

第 4 回運営会議 2024 年 11 月 岡山・岡山コンベンションセンター（JTTA2024 会場）

第 5 回運営会議 2024 年 12 月 東京・全国家電会館

第 6 回運営会議 2025 年 2 月 東京・全国家電会館（SC2025 会場）

(5) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を維持し、会費・掲載料の適正な収納に努める。
- ・会員管理 正確な名簿を維持し、会員サービスの適時提供に努める。

- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信に努める。
英語ページの発信力向上を目指した運用を再検討する。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援に努める。
- ・ISfTeH 窓口業務を遂行し、メンバーシップ (National Member) を維持する。
- ・その他 本会の運営維持に関わる事項を遅滞なく実施する

(6) 委員会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 21 巻 1 号に掲載する。

- ・編集委員会 学会雑誌 20 巻 1, 2、補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2025 開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援。
- ・社会保険委員会 内保連との連携と医療保険制度の周知
- ・国際交流委員会 ASEAN との合同フォーラム開催を企画し、実現する。
ASEAN 諸国との遠隔医療に関わる連携関係を構築する
JICA 等関係機関との連携を維持する。
- ・選挙管理委員会 2025 年度幹事会員選挙業務の遂行

(7) 分科会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 21 巻 1 号に掲載する。

- ・分科会の継続確認
- ・適切な助成の実施

以上。

第4議案 令和6(2024)年度(第14期)予算

第14期(2024年4月1日～2025年3月31日)の予算を以下のとおり提案する。予算編成上の要点については、各予算コメントを参照のこと。

(1) 事業収支

1. 収支総括

科目	2023年度実績	2024年度予算	予算コメント
当期事業収入合計	8,225,961	13,360,020	
当期事業支出合計	8,110,673	13,486,000	
当期事業収支	115,288	-125,980	

2. 収入詳細

科目	2023年度実績	2024年度予算	予算コメント
(1) 会費収入	6,298,000	7,240,000	
幹事会員会費 当年度分	450,000	450,000	30人×15,000円
正会員会費 当年度分	4,722,000	5,500,000	550人×10,000円
学生会員会費 当年度分	48,000	100,000	25人×4,000円
購読会員会費 当年度分	60,000	40,000	4人×10000円
賛助会員会費 当年度分	600,000	750,000	15社×50,000円
会費 過年度分	418,000	400,000	延べ40人×10,000円
(2) 参加費収入	555,000	1,200,000	
役員研修会参加費	-	-	開催なし
Spring Conference参加費	555,000	1,200,000	120人×10,000円
ランチョンセミナー参加費	-	-	
国際ワークショップ参加費	-	-	
(3) 国際交流事業収入	-	3,000,000	
ASEAN Forum開催資金	-	3,000,000	
(4) 学会誌事業収入	148,645	270,000	
学会誌別刷作成	-	-	
J T T A 論文掲載料	130,000	200,000	延べ20人×10,000円
学会誌バックナンバー販売	11,000	60,000	6000円×10冊
広告費	-	-	
分科会活動協賛金	-	-	
その他販売	-	-	
著作権使用料	7,645	10,000	医中誌等
(5) その他収入	1,224,316	1,650,020	
受取利息	51	20	
貸付金戻入れ	-	-	
米子基金から振替	1,144,860	1,650,000	医療DX検討会活動費、学術大会海外演者招聘
その他収入	-	-	
寄付金受け入れ	-	-	
学術大会準備金戻入れ	79,405	-	
当期事業収入合計	8,225,961	13,360,020	

3. 支出詳細

科目	2023年度実績	2024年度予算	予算コメント
(1) 事業費	3,556,803	7,510,000	
分科会活動助成金	212,000	250,000	5分科会×5万円
分科会活動費			
医療DX検討会開催費	-	1,000,000	
Spring Conference開催費	1,192,583	1,200,000	講師謝金・会場費・運営費・抄録集印刷費等
国際ワークショップ開催費	-	3,000,000	ASEAN合同フォーラム
委員会活動費	-	100,000	各種委員会会議費
広報活動費	205,800	430,000	HP維持費13万円、HPリニューアル30万円
会議費	667,160	700,000	総会・理事会・運営委員会等会場費、運営費、通信費
国際交流費	1,144,860	150,000	Finlandへの役員派遣費清算
学術大会支援費	-	-	
表彰費	11,200	30,000	優秀論文副賞
市民活動助成費	-	-	
他学会等共同活動費	-	-	
教育研修事業費	123,200	-	
演者謝金	-	50,000	JTTA2024への海外演者招聘
演者旅費	-	600,000	JTTA2024への海外演者招聘
(2) 学会誌事業支出	2,562,165	3,365,000	
機関誌印刷費	1,766,765	2,600,000	20巻各650冊1号1.0千円2号2.0千円3号1.0千円
論文査読支援業務費	499,400	600,000	論文査読業務支援委託等
論文投稿受付システム費	296,000	165,000	論文投稿受付システムメンテナンス
論文別刷印刷費	-	-	
(3) 加盟費	448,995	375,000	
内保連等年会費	200,000	200,000	内保連20万円
禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	100,000	
IS f Teh年会費	148,995	75,000	500USD×150JPY/USD
(4) 管理費	1,542,710	1,636,000	
事務局人件費	131,500	180,000	事務局学生アルバイト
事務局業務委託費	93,335	180,000	学会誌等発送業務委託
事務局スペースレンタル費	132,000	66,000	月5,500円×12=66,000円(税込み)
国内旅費	126,370	150,000	
海外旅費	-	-	
運搬通信費	366,102	500,000	請求書郵便10万円、電話4万円、学会誌発送36万円
手数料	40,392	40,000	
消耗品費	115,007	150,000	封筒・請求書用紙他
備品費	-	-	
税理士報酬	495,000	330,000	30万円+税
雑費	43,004	40,000	
(5) 租税公課	-	-	
租税公課	-	-	
(6) その他の支出	-	600,000	
学術大会準備金	-	600,000	JTTA2024/30万円、JTTA2025/30万円
貸付金払出し	-	-	
米子基金へ振替	-	-	
寄付	-	-	
当期事業支出合計	8,110,673	13,486,000	

(2) 特別会計収支

科目	2023年度実績	2024年度予算	予算コメント
一般会計から振替	-	-	
米子基金貸付金戻入れ	-	-	
米子基金貸付払出し	-	-	
米子基金口座利息	38	-	
一般会計へ振替	1,144,860	1,650,000	医療DX検討会活動費、学術大会海外演者招聘
米子基金残高	3,296,138	1,646,138	

(3) 期末資産内訳

科目	2023年度実績	2024年度予算	予算コメント
現金・預金	9,015,721	7,247,741	米子基金管理口座を含む
棚卸資産	658,527	658,527	2024年3月末棚卸実績
備品	19,110	19,110	
前受け金	-60,000	-	
未収金	-	-	
当期正味財産	9,633,358	7,925,378	

以上。

第5議案 定款の改訂

改訂の趣旨：第4条のホームページのURLの記載を削除する。

現行	改訂案
(公告) 第4条 当法人の公告は、日本遠隔医療学会のホームページ (http://jtta.umin.jp/) の電子公告によりおこなう。	(公告) 第4条 当法人の公告は、日本遠隔医療学会のホームページの電子公告によりおこなう。

以上。